

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		人権フェスティバル実行委員会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	財津幸泰
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	塩地由梨
	基本事業	72	人権教育啓発活動の実践			所属班	啓発教育班	(内線)	2427
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	2
		1	3	1	8	10879		コスト削減優先度評価結果	11
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	人権フェスティバル実行委員会の運営に関し、補助金を交付する事業。一般市民へ広く人権啓発をしていくことが重要であるということで、平成14年度より旧合志町において、実行委員会を組織して人権フェスティバルを開催していた。旧西合志町では平成9年度より町と町教育委員会、町人権教育推進協議会主催で人権フェスティバルを開催していた。2町合併により、参加対象となる市民の対象人口が増えた。
【業務の流れ】	人権フェスティバル実行委員会設置要綱の制定、告示。要綱に基づく負担金の支払い事務。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(人権フェスティバル実行委員会補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	これからもこの事業を進めていくために内容等について、再検討が必要との意見有。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
人権フェスティバル実行委員会の運営費に対し負担金を交付。	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア 会議開催回数 回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
人権フェスティバル実行委員会	⇒ ア 人権フェスティバル実行委員会委員数 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
人権フェスティバルの適切な運営を図れるようにする。	⇒ ア 人権フェスティバルに参加して、アンケートに「よかった」と回答した割合 % ⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 参加者に、参加してよかったと感じてもらおうことが、人権意識を高めることにつながる。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	4	4	4	5			
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	29	29	29	26			
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	76.2	83	85	0			
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	450					
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	810	1,030	1,197	595		
	(A) 事業費計	千円	1,260	1,030	1,197	595	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人	3	5	3	26			
	延べ業務時間	時間	48	120	48	543			
	(B)人件費計	千円	191	480	191	2,161	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,451	1,510	1,388	2,756	0	0	

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

事務事業名	人権フェスティバル実行委員会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	----------------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度は、インフルエンザ感染拡大防止のため大会そのものは中止となったが、人権作品の展示や、プランター、花の球根等の啓発品を保育園・幼稚園・小中学校へ配布することができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成22年度からは、「人権フェスティバル開催事業」として行っていく。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
過去の参加者のアンケート等の意見も参考にしながら、今後の人権フェスティバルをよりよくしていく必要がある。